17年間も継続してきた住宅リフォーム補助金は

10倍以上の経済効果あり



平　陽子
（たいら ようこ）

録画映像はこちら

補聴器助成について

県西地区では、古河市、下妻市、常総市、筑西市、桜川市、八千代町の6つの自治体が助成を行っています。本市での今後の支援について。

市長　聴力の維持は、フレイル予防や認知症予防の観点から有効であるため、今後は難聴に関する健康講座等の機会を設けて、早期に、ご本人、ご家族に関心を持ってもらえるよう周知啓発を図っていきたいと考えている。

補聴器助成の導入については、高齢者の日常生活支援の観点を踏まえ、県内自治体の実施状況を注視しながら慎重に検討していく。

住宅リフォーム補助金廃止について

廃止の理由と今後の支援について。

市長　財源としていた国の交付金が、本事業に対して確保されなくなったこと、また、国に類似したリフォーム補助制度が数多く存在することなどから、令和8年度より廃止した。今後については、国の住宅リフォーム関連制度等についての情報収集を継続して行うとともに、市民や事業者のニーズを注視しながら、しっかりとした相談体制の充実や、国の制度申請の支援、周知徹底をしていきたいと考えている。

校内フリースクールについて

今後について。

市長　子どもたち一人一人が、安心して過ごし、自分らしく学べる子どもたちの居場所としてその必要性を強く認識している。

すべての子どもたちの「安全な暮らし」と「学びの権利」を力強く保障し、「誰一人取り残されない教育」を成し遂げるべく、全力で取り組んでいく。

子どもたちの教育環境をしっかり整えることは、我々行政の役目であり大人の責任として子どもたちの教育にしっかりと取り組んでいきたい。



※一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。